

# 猪崎農地保全会平成 29 年度業務報告

平成 30 年 1 月吉日

猪崎農地保全会 代表 衣川 莞爾

平成 29 年は、近年稀な大雪に 2 回、台風 21 号による水害で、堤外に多大な被害を被りました。

雪害による竹藪の復旧整備、鳥被害防止で東山の桧 7 本除去、地区外の所有者他別久 5 筆を 1 筆に集積、農道橋 2 か所拡幅等、遊休農地のすき返し・草刈りの農地保全以外に、地区外の方にも協力していただきました。

今年から中間管理機構を通じ筈巻の方に約 3.5 町歩、従来より堤外で牧草販売（西村氏）、約 4 町歩、土の森本さんに約 1.5 町歩お世話になりました。

たけのこ（官ヶ瀬竹藪）蕎麦（麻町・別久・中溝）山ふき（北角・岩志・谷田）の販売を実施しましたが、売り上げは伸びておりません。

30 年度は、竹藪の被害が甚大で、販売見込み無しの状況です。

不在地主の方には、農地保全協力費として反当り 15,000 円協力していただきました。有難うございます。

将来に向け、農地保全に微力ではありますが、維持継続してゆかなければなりません。地主の皆さん「先代より受け継いだ大事な農地」再度見直され、自ら農地を守っていただきたく強く要望します。

農地を守ることは国を守ることです。

